測量･土木設計･登記業務アプリケーション

MANUAL

導入編

この度は、測量･土木設計･登記業務アプリケーション WingneoINFINITY をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、WingneoINFINITY を動作させるために必要となる環境について、インストール･アンインストール方法、バージョンアップの際の手順と、ライセンス管理ツール、及び外業向けライセンス持ち出しについて解説しております。

導入編

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

1.作業に入る前に

推奨動作環境

本システムを正常に動作させるためには、以下の動作環境が必要となります。

OS

Windows® XP Professionl sp3 以上 / Windows® Vista Bussiness sp2 以上(エアロ機能非保証) /
Windows® 7 Professional sp1 以上(エアロ機能・XP モード非保証) / Windows® 8 Pro /
Windows® 8.1 Pro(2014 年 3 月現在)

環境

Microsoft®Internet Explorer®7 / 8 / 9 / 10 / 11
.NET Framework3.0 または 3.5sp1
※成果ダイレクト電納 / オンライン特例方式 / 完全オンライン方式プラス / 登記書類作成支援 /
調査報告書作成支援などを使用するクライアント PC に必須
Microsoft Office® 2003/2007/2010
※一部の成果出力と帳票 Excel® 出力を行うクライアント PC に必須
Java ランタイム(JRE7)
※電子署名を行うクライアント PC に必須
推奨画面解像度 1280×960 / メモリ 2GB 以上
HD 1GB 以上推奨 CPU Pentium® 4 以上推奨
※Windows® 8 でご使用の場合は、ディスプレイの設定で項目のサイズ「小」でのご使用をお勧めします。

※3D 点群ツールをお使いの場合の推奨環境

OS:Microsoft®Windows®Vista/ Windows®7(64bit)/ Windows®8 Pro / Windows®8.1 Pro
CPU: Intel®Corei™5 2.4GHz 以上
メモリ:4GB 以上
グラフィックメモリ:512MB 以上 グラフィックボード OpenGL3.0 以上

※マップビューワをお使いの場合の推奨環境

OS:Windows® XP Professionl sp3 以上 / Windows® Vista Bussiness sp2 以上(エアロ機能非保証) /
Windows® 7 Professional sp1 以上(エアロ機能・XP モード非保証) / Windows® 8 Pro / Windows® 8.1 Pro
環境:.NET Framework2.0 以上

※現場データや設定ファイル等の領域は別途必要になります。

2.セットアップ

HASP キータイプとセットアップタイプ

セットアップタイプは、ご購入時の HASP の種類によって異なります。
以下の表に HASP キータイプと、必要なセットアップタイプを示しますので、ご使用の HASP キータイプに対応したセットアップを各コンピュータ毎に行ってください。

セットアップタイプ	HASP キータイプ		
	スタンドアロン・キー	ネットワーク・キー	モバイル・キー
WingneoINFINITY クライアント	×	○	×
WingneoINFINITY サーバー	×	○+HASP	×
WingneoINFINITY モバイル、スタンドアロン	○+HASP	×	○+HASP
カスタム	○+HASP	○+HASP	○+HASP
サーバー＆クライアント	×	○+HASP	×
モバイル＆スタンドアロン	×	×	○+HASP

（表 2-1）

※HASP ： そのコンピュータに HASP キーを接続することを意味します。
HASP キーを接続するには、HASP デバイスドライバのインストールが必要です。
※ × ： インストールは完了しても、有効に動作しません。特にサーバーインストールは、自動実行プログラムを含み、インストール完了後即実行しますので、不要な場合はインストールしないでください。

■ WingneoINFINITY クライアント
ネットワークのクライアント実行環境設定を行います。

■ WingneoINFINITY サーバー
ネットワークのサーバー機能の設定、インストールを行います。
ネットワーク・ライセンス・キーが必要です。

■ WingneoINFINITY モバイル、スタンドアロン
ネットワーク機能を使用しない実行環境を作ります。
モバイル、又は、スタンドアロン・ライセンス・キーが必要です。

■ サーバー＆クライアント
サーバーとクライアント環境を同時にインストールします。
１台のコンピュータでサーバーとクライアントを兼用する場合に選択します。

■ モバイル＆クライアント
モバイルとクライアント環境を同時にインストールします。
WingneoINFINITY をネットワークに参加、または、単独で起動の切り替えができます。

■ カスタム
既存のコンピュータ、ネットワーク環境の事情により、WingneoINFINITY サーバー機能を、
複数のコンピュータ、または、ドライブ、フォルダに分散してインストールする場合に選択します。

◆注意

- 製品ならびに付属ドライバ等のインストール・アンインストール・バージョンアップをするには、管理者の権限が必要です。インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。
- ユーザー名は半角英数で登録してください。
- ユーザーにはパスワードを登録してください。
- コンピュータにプログラムをインストール・アンインストールする際には、ウィルスセキュリティソフトを停止または終了させてからの実行をお奨めいたします。

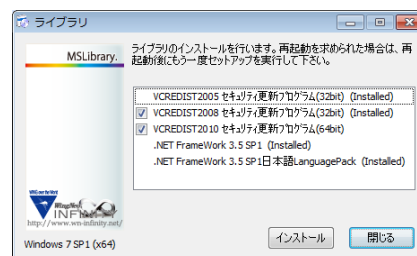
MS ライブラリのセットアップ

「MS ライブラリ」をインストールします。
「MS ライブラリ」内には「VCREDIST2005 セキュリティ更新プログラム」、「VCREDIST2008 セキュリティ更新プログラム」、「VCREDIST2010 セキュリティ更新プログラム」、「.NET Framework3.5 SP1」がそれぞれ格納されています。
お客様の環境に応じてセットアップを行うようにしてください。

◆注意

- インストールをするには、管理者の権限が必要です。インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。
- 初めて INFINITY をセットアップする場合には必ず最初にインストールしてください。
- Microsoft®の制限により、Windows8 以上の OS(2012 Server を含む)ではインターネットへの接続が必要になります。

◆操作手順

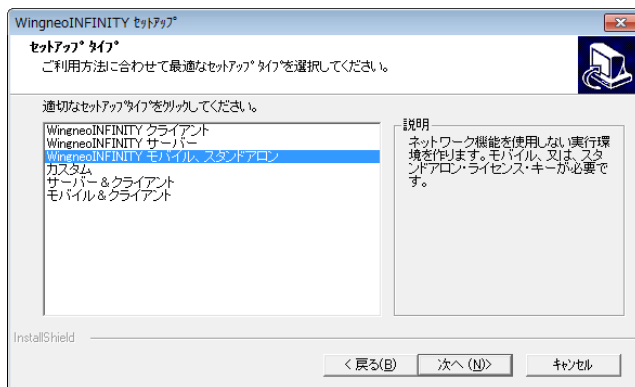
1. WingneoINFINITY セットアップ DVD-ROM をコンピュータにセットします。
   「WingneoINFINITY インストールランチャ」が自動起動します。
2. [MS ライブラリ]を選択し、[実行(S)]をクリックしてセットアップを実行します。
3. 「ライブラリ」ウインドウが立ち上がります。
   お使いの環境に応じて、インストールが必要な項目にチェックが自動的に入りますので[インストール]をクリックします。
4. ライセンス条項が表示されますので、[同意する]にチェックして[インストール]をクリックします。
5. 完了メッセージが表示されますので[完了]をクリックします。
   ※以下、同様の手順でインストールが必要なライブラリを順にセットアップしていきます。

WingneoINFINITY　新規インストール

WingneoINFINITY セットアップ DVD-ROM からインストールランチャを起動して必要なプログラム、及び環境をインストールします。

◆注意

- いずれのセットアップに関わらず、セットアップ後に、インストールされたファイルを手動で削除、移動などをしないでください。セットアップがインストールされた環境を正しく認識できなくなり、アンインストール、バージョンアップなどが機能しなくなります。
- インストールランチャでは「□インストール済みのプログラムを表示しない」にチェックが入っていると、既にインストール済みなどで必要のないドライバなどは表示されないようになっています。手動で再インストールしたい場合はチェックをはずしてください。

◆操作手順

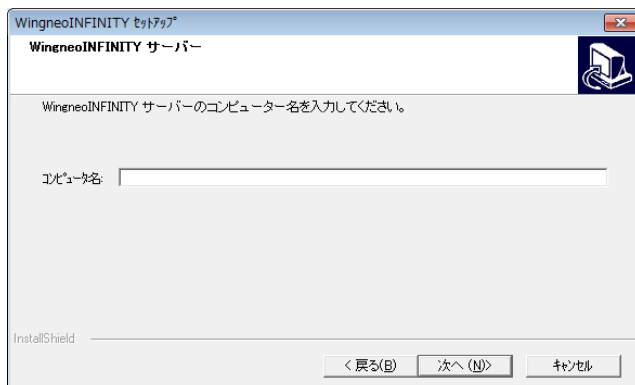
1. WingneoINFINITY の DVD-ROM をドライブへセットします。
2. インストールランチャが表示されます。
   [Wingneo INFINITY インストール]を選択し、[実行(S)]をクリックします。
3. WingneoINFINITY セットアップ画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
4. 使用許諾契約の画面が表示されます。[はい]をクリックします。
5. インストール手続き画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
6. セットアップ選択画面が表示されます。インストールするセットアップタイプを選択し、[次へ]をクリックします。

セットアップタイプ別に、セットアップを進めます。

WingneoINFINITY サーバー・サーバー＆クライアントのセットアップ

「WingneoINFINITY ネットワークサーバー」にするコンピュータに各種ファイルをインストールします。
※このセットアップは、WingneoINFINITY ネットワークサーバーマネージャ(以下、INFINITY サーバーといいます)をサービスとしてインストールします。

◆操作手順

◆セットアップ◆

1. 「WingneoINFINITY サーバー・サーバー＆クライアント」を選択して次へ進むと、プログラムファイルのインストール先の選択画面が表示されます。インストール先を設定し、[次へ]をクリックします。
   標準では C ドライブの"Program Files"の中にインストールされます。
   　C:¥Program Files¥AisanTechnology¥WingneoINFINITY
   保存場所を変更する場合は、[参照]をクリックします。
2. データファイルのインストール先の選択画面が表示されます。
   インストール先を設定し、[次へ]をクリックします。
   標準では C ドライブの"WingneoINFINITY"の中にインストールされます。
   　C:¥WingneoINFINITY
   保存場所を変更する場合は、[参照]をクリックします。
   ※データファイルは Program Files にインストールしないでください。
3. WingneoINFINITY サーバーの設定画面が表示されます。(クライアントインストールのみ)
   ここでは、WingneoINFINITY のサーバーに設定するパソコン名を入力します。[次へ]をクリックします。

4.　プログラムフォルダの選択画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
　（サーバーインストールでは表示されません）
5.　ファイルのコピー開始画面が表示されます。そのまま[次へ]をクリックします。
6.　インストール完了画面が表示されます。[完了]でインストールを完了します。

次に、サーバー環境を構築します。

◆サーバー環境の構築（フォルダの共有化）◆

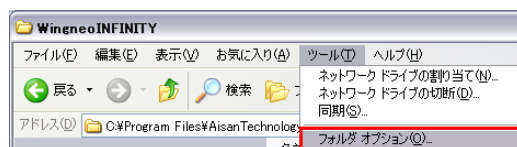
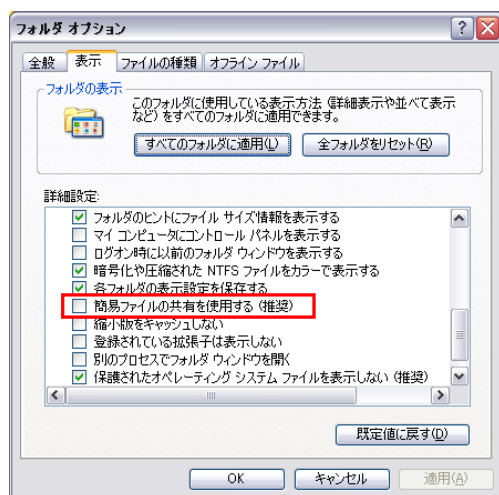
サーバー環境を構築するためにフォルダに共有名を設定します。
インストール先として指定したフォルダには以下のフォルダがありますので、エクスプローラなどでフォルダを確認します。

※標準インストールの場合

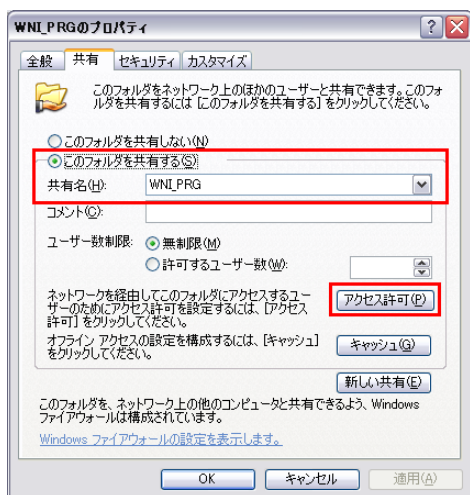
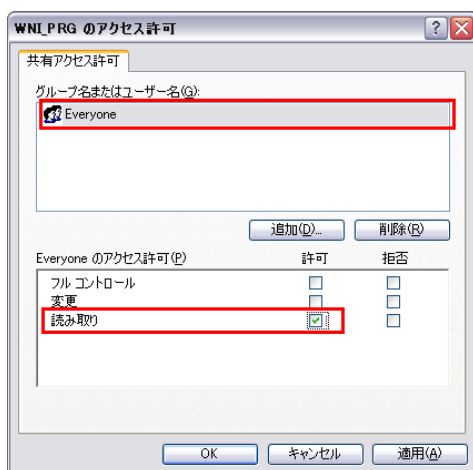
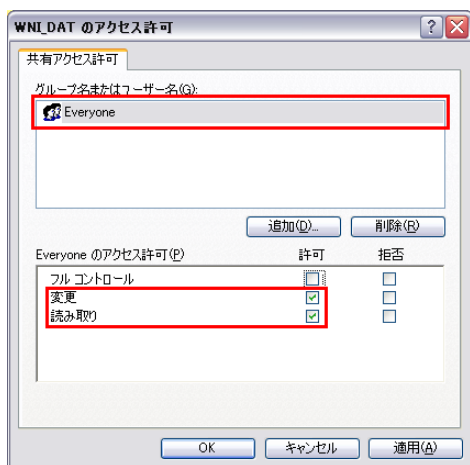
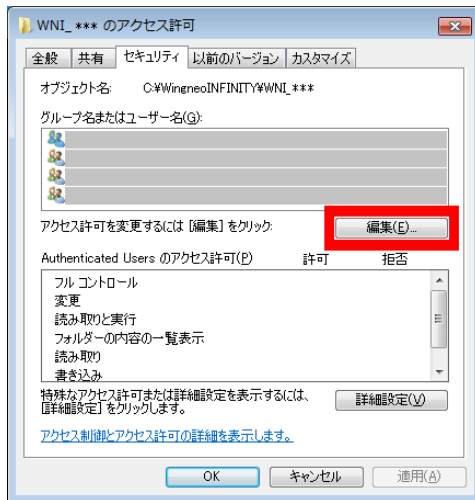
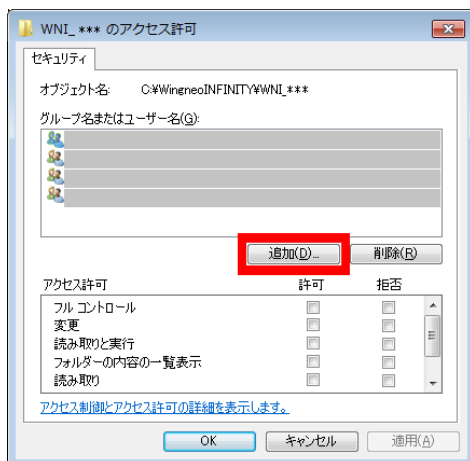
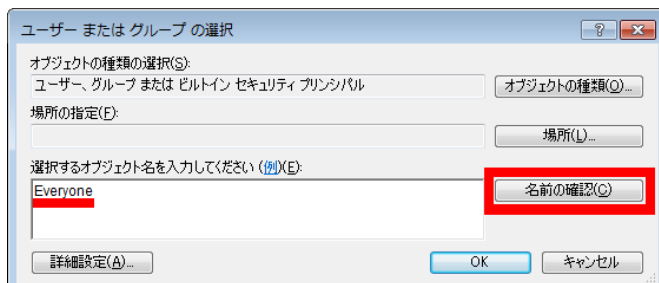
C:¥Program Files¥AisanTechnology¥WingneoINFINITY¥WNI_PRG
C:¥Program Files¥AisanTechnology¥WingneoINFINITY¥WNI_HLP
C:¥WingneoINFINITY¥WNI_SYS
C:¥WingneoINFINITY¥WNI_DAT

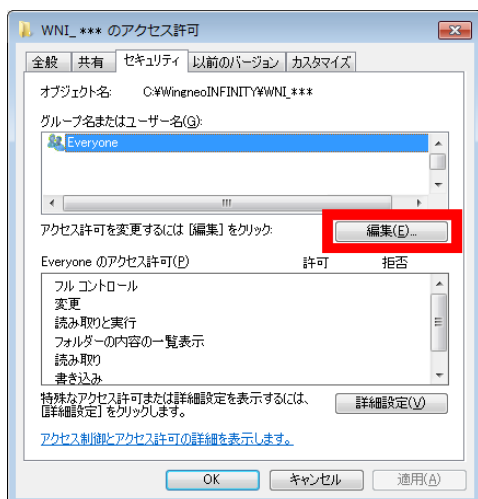
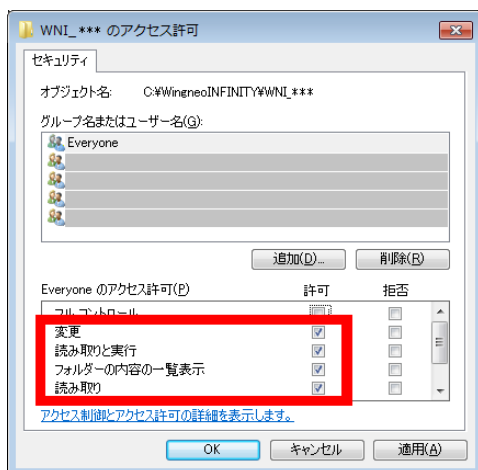
これらのフォルダを「WingneoINFINITY クライアント」からアクセスできるようにするため、
共有名を設定します。

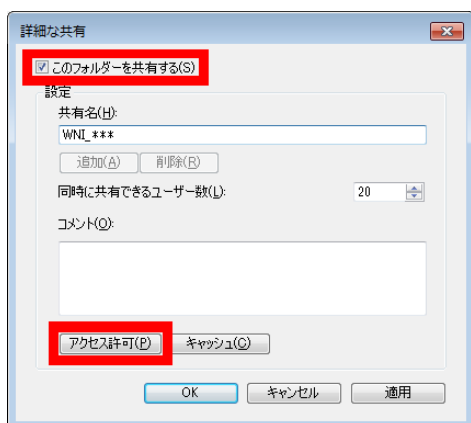
≪WindowsXP の場合≫

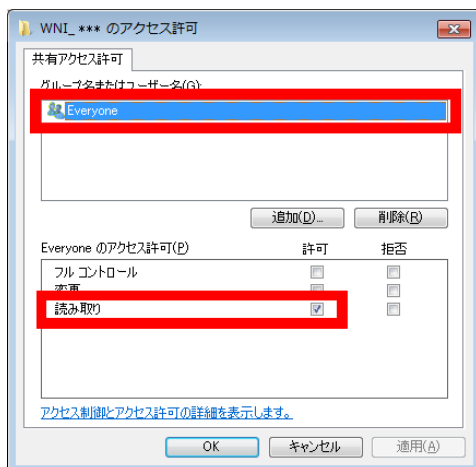
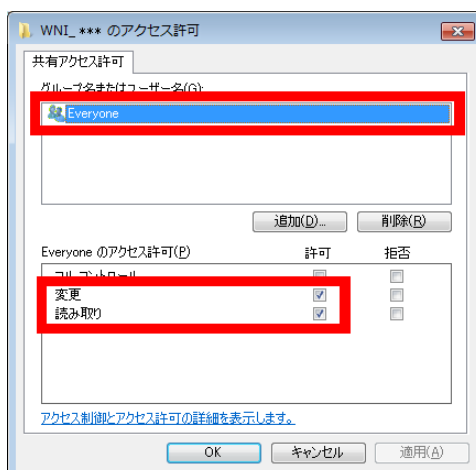
エクスプローラより[ツール]-[フォルダオプション]をクリックします。

「フォルダオプション」が表示されます。タブを[表示]に切り替えます。
「詳細設定」項目の中の[簡易ファイルの共有を使用する（推奨）]のチェックを外します。

[適用]、[OK]をクリックし、フォルダオプションを閉じます。

次に、ファイルの共有を行います。

エクスプローラより、上記のフォルダを開きます。
フォルダ名の上で右クリックをし、[プロパティ]を開きます。
タブを[共有]に切替えます。
[このフォルダを共有する]にチェックをつけ、[アクセス許可]をクリックします。
[適用]、[OK]をクリックします。

【 「WNI_HLP」「WNI_PRG」の場合 】
「グループ名またはユーザー名」の「Everyone」を選択し、「読み取り」を選択します。
[適用]、[OK]をクリックします。

【 「WNI_DAT」「WNI_SYS」の場合 】
「グループ名またはユーザー名」の「Everyone」を選択し、「変更」「読み取り」を選択します。
[適用]、[OK]をクリックします。

≪WindowsVista / Windows7 / Windows8 / Windows8.1 の場合≫
エクスプローラより、上記のフォルダを開きます。
フォルダ名の上で右クリックをし、[プロパティ]を開きます。
タブを[セキュリティ]に切替えます。「グループ名またはユーザー名」のリストに「Everyone」がない場合は、
[編集]をクリックします。

[追加]をクリックします。

「選択するオブジェクト名を入力してください」に「Everyone」と入力します。
[名前の確認]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

アクセスが許可されたユーザーとして「Everyone」が追加され、Everyone(どのユーザーも)が本フォルダに
アクセスできるようになります。

「Everyone」が追加されていることを確認後、アクセス許可のレベル設定をします。
「Everyone」を選択して[編集]をクリックします。

「セキュリティ」で「変更」を選択します。
(「変更」を選択すると、「フルコントロール」「特殊なアクセス許可」以外が選択された状態になります。)
[適用]、[OK]をクリックします。
一連の操作によりセキュリティのアクセス権変更が適用されます。

次に、ファイルの共有を行います。

エクスプローラより、上記のフォルダを開きます。フォルダ名の上で右クリックをし、[プロパティ]を開きます。
タブを[共有]に切替えます。[詳細な共有]をクリックします。
[このフォルダを共有する]にチェックをつけます。

[アクセス許可]をクリックします。

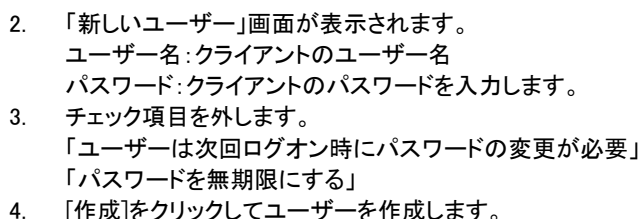
【 「WNI_HLP」「WNI_PRG」の場合 】
「グループ名またはユーザー名」の「Everyone」を選択し「読み取り」を選択します。
[適用]、[OK]をクリックします。

【「WNI_DAT」「WNI_SYS」の場合】
「グループ名またはユーザー名」の「Everyone」を選択し、「変更」「読み取り」を選択します。
[適用]、[OK]をクリックします。

※「Everyone」を追加するとすべてのユーザーがアクセスできます。
※高セキュリティを希望される方は全パソコンにグループを設定し、そのグループに対して上記設定を行ってください。

◆サーバー環境の構築(ユーザーの追加)◆
接続するクライアントユーザーの登録を行います。
クライアントが上記のフォルダや INFINITY サーバーにアクセスする為にクライアントのユーザー名、パスワードを登録します。グループへクライアントのユーザー名を追加します。

【ユーザー設定方法】※WindowsXP Professional の画面を表示しています。
サーバーにクライアントユーザーを追加します。

1. マイコンピュータを右クリックし、[管理]をクリックします。
「コンピュータの管理」が開きます。
[ローカルユーザーとグループ]のツリーをクリックし[ユーザー]を選択します。
右側にユーザー名が表示されます。
ユーザー名一覧で右クリックし、[新しいユーザー]を選択します。

2. 「新しいユーザー」画面が表示されます。
   ユーザー名：クライアントのユーザー名
   パスワード：クライアントのパスワードを入力します。
3. チェック項目を外します。
   「ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要」
   「パスワードを無期限にする」
4. [作成]をクリックしてユーザーを作成します。

【グループ設定方法】
追加したユーザーを Administrators グループへ追加します。

1. マイコンピュータを右クリックし、[管理]をクリックします。
   「コンピュータの管理」が開きます。
   [ローカルユーザーとグループ]のツリーをクリックし、[グループ]を選択します。
   右側に、グループ名一覧が表示されます。
2. 「Administrators」のグループ名で右クリックをし[グループに追加]を選択します。
3. 「Administrators のプロパティ」が開きます。[追加]をクリックします。
4. 「ユーザーまたはグループの選択画面」が表示されます。
   登録したクライアントのユーザー名を選択、[追加]でグループに追加し、[OK]で確定します。

◆注意

- １台のコンピュータであっても、仮想ネットワーク環境を作ります。ネットワークが使用できない環境では、WingneoINFINITY の起動はできません。
  ※ ネットワークが使用できない環境とは、ネットワークアダプタが実装されていなかったり、インストール時に「ネットワークを使用する」設定になっていない場合などがあります。

◆ポイント

- INFINITY サーバーは自動起動サービスとして登録されていますから、次回の電源投入時にはユーザー名によるログオンは不要です。
- WingneoINFINITY クライアントを複数台導入する場合、コンピュータの台数に余裕がある限り、サーバーとクライアントは別々にインストールすることをお勧めします。
- WingneoINFINITY ネットワークサーバーマネージャーがバックグラウンドでネットワーク処理をしている為、一度に大量の座標、区画データなどの更新や、複雑な計算を実行すると CPU に負荷がかかり、ネットワーク全体のパフォーマンスが低下します。

WingneoINFINITY クライアントのセットアップ

WingneoINFINITY ネットワーククライアントにするコンピュータに対し、サーバーへの接続情報設定、及び、WingneoINFINITY 起動用アイコン(ショートカット)をインストールします。

※ WingneoINFINITY クライアントのセットアップ時に、WingneoINFINITY サーバーのセットアップが完了している必要は有りません。但し、サーバーのコンピュータ名は間違いなく入力してください。

◆操作手順

1. 「WingneoINFINITY クライアント」を選択し、次へ進んでください。
2. WingneoINFINITY サーバーをインストールしたコンピュータ名を入力し、次へ進みます。
3. WingneoINFINITY 起動用のショートカットを置くフォルダ名を選択します。
4. 以上のセットアップが完了すると、[スタートメニュー]-[プログラム]-[AisanTechnology WingneoINFINITY](手順 3.で指定したフォルダ名)に、「WingneoINFINITY 起動 ネットワーク」のショートカットが作成されます。
   WingneoINFINITY サーバーのセットアップが完了し、各コンピュータが正しく接続されていれば、Wingneo INFINITY を起動することができます。

WingneoINFINITY スタンドアロン、モバイルのセットアップ

WingneoINFINITY を持ち出し用に設定するコンピュータに各種ファイル、及び WingneoINFINITY 起動用アイコン(ショートカット)をインストールします。

◆操作手順

1. 「WingneoINFINITY モバイル、スタンドアロン」を選択し、次へ進んでください。
2. プログラム、データファイルなどを実際にコピーするフォルダを指定してください。
   ※ [参照]ボタンで、フォルダを変更できます。
3. WingneoINFINITY 起動用のショートカットを置くフォルダ名を選択します。
4. 以上のセットアップが完了すると、[スタートメニュー]-[プログラム]-[AisanTechnology WingneoINFINITY](手順 3.で指定したフォルダ名)に「WingneoINFINITY 起動 ローカル」のショートカットが作成されます。
   HASP デバイスドライバのセットアップを実行し、HASP キーを USB ポートに接続すると、WingneoINFINITY を起動することができます。

モバイル&クライアントのセットアップ

WingneoINFINITY モバイルとクライアントの環境を1台のコンピュータにインストールします。

◆操作手順

1. セットアップタイプの「モバイル&クライアント」を選択し、セットアップを進めます。
   ※ 必要な設定項目はモバイルとクライアントを別々にインストールした場合と同じですから、以下に注意点のみ挙げます。
2. クライアントのセットアップを行います。
   WingneoINFINITY サーバーをインストールしたコンピュータ名を入力してください。
   ※ インストール中のコンピュータ名ではありません。
3. インストールを完了すると、ネットワーク用とローカル用の2つのショートカットがスタートボタンのプログラムメニューに作成されます。
   ※ WingneoINFINITY サーバーのコンピュータと接続されていない場合はネットワーク用のショートカットは機能しません。(ショートカットアイコンが正しく表示されません。)

◆ポイント

このセットアップでは、サーバーのインストールと同様のファイル構成がインストールされますが、
共有名の設定は不要です。

HASP デバイスドライバのセットアップ

HASP キーを接続するコンピュータにデバイスドライバをインストールします。(p4 表 2-1 参照)
※ HASP デバイスドライバのセットアップ実行時に、HASP キーを接続する必要はありません。

◆注意

- デバイスドライバのインストールをするには、管理者の権限が必要です。
  インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。

◆操作手順

1. WingneoINFINITY セットアップ DVD-ROM をコンピュータにセットします。
   「WingneoINFINITY インストールランチャ」が自動起動します。
   ※　自動起動されない場合は、「エクスプローラ」などで、DVD-ROM ディスク内の「InstLauncher.exe」を起動してください。ランチャ起動後は、「エクスプローラ」などは終了してから先へ進んでください。
2. [HASP ドライバ]を選択し、[実行(S)]をクリックします。HASP デバイスドライバのセットアップが実行されます。
3. [NEXT]をクリックします。
4. [I accept the license agreement](上段)を選択し、[Next]をクリックします。
5. [Finish]をクリックし、インストールを完了します。

以上で HASP デバイスドライバのセットアップは完了です。HASP キーを USB ポートに接続します。

PDF ドライバのインストール

◆注意

- ドライバをインストールするには、管理者の権限が必要です。インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。
- インストールランチャでは「□インストール済みのプログラムを表示しない」にチェックが入っていると既にインストール済みなどで必要のないドライバなどは表示されないようになっています。
  手動で再インストールしたい場合はチェックをはずしてください。

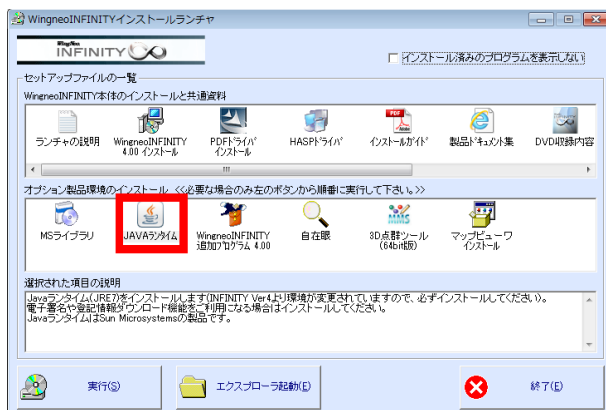
◆操作手順

1. WingneoINFINITY セットアップ DVD-ROM をコンピュータにセットします。
2. インストールランチャが表示されます。
3. [PDF ドライバインストール]を選択し、[実行(S)]をクリックします。
   PDF ドライバインストール完了後、ドライバの設定変更を行います。
   ※ デフォルト設定では、PDF変換後に変換されたPDFを表示させる機能がオンになっておりますが、大量の変換時に本機能を利用しますと、極端にスピードが低下したり、最悪の場合はフリーズする可能性もありますので、設定を変更します。
4. [スタートメニュー]-[プログラム]-[Antenna House PDF Driver 5.0]-[PDF 出力の設定]をクリックします。
5. [編集]ボタンをクリックします。

6. 「作成後 PDF を表示」にチェックが付いている場合は、チェックを外します。

7. [名前をつけて保存]を選択します。
8. ファイル名は「new」のまま、[保存]を選択し終了します。

JAVA ランタイムのセットアップ

JAVA ランタイム（JRE7）は XML 署名ツール及びオンライン特例方式オプションで電子署名を行なうために必要な環境です。新規またはバージョンアップインストールする場合に実行します。

◆注意

- インストールをするには、管理者の権限が必要です。インストールする際は、「Administrator」、または「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。
- 下位または上位のバージョンがインストールされている場合は一旦アンインストールを実施した後にインストールを開始してください。

◆操作手順

1. WingneoINFINITY セットアップ DVD-ROM をコンピュータにセットします。
   「WingneoINFINITY インストールランチャ」が自動起動されます。
2. [JAVA ランタイム]を選択し、 [実行（S）]をクリックします。
3. セットアップ画面が表示されますので、製品使用許諾契約に同意してインストールします。
   セットアップタイプは標準を選択し画面に従ってインストールします。
4. JAVA ランタイムをインストールした後で、コントロールパネルの[Java] をダブルクリックし、
   JAVA コントロール・パネルの[更新]タブから「更新を自動的にチェック」のチェックを外します。
   警告が表示されたら[チェックしない]をクリックしてください。
   バージョンが異なると、電子署名を利用できなくなる可能性があります。

WingneoINFINITY 追加プログラム、自在眼のセットアップ

登記情報取得サービス、Google クラウドサービス、スケジュール管理、登記申請関係のオンライン申請・報酬額計算・登記書類・調査報告書等を使用する場合にインストールします。

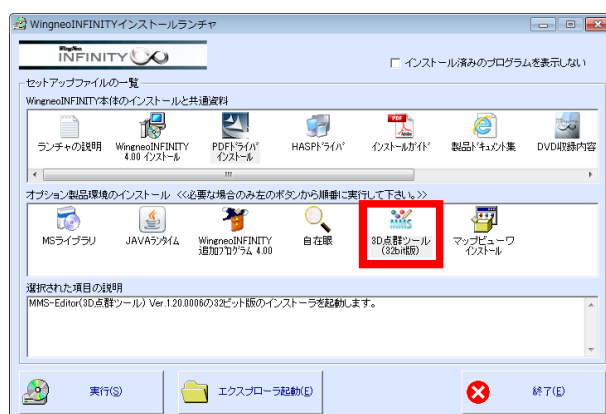
◆注意

- インストールをするには、管理者の権限が必要です。
  インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。
- 自在眼のインストールはネットワーク経由でのインストールができませんので、PC にある DVD ドライブからインストールしてください。DVD ドライブがない PC ではローカルディスクへインストール DVD のプログラムをコピーして実施してください。(CAD での「PDF ファイル読み込み」や「事件簿管理」をご利用になる場合にインストールが必要です。)

◆操作手順

1. WingneoINFINITY セットアップ DVD-ROM をコンピュータにセットします。
   「WingneoINFINITY インストールランチャ」が自動起動されます。
2. [WingneoINFINITY 追加プログラム 4.00]を選択し、 [実行(S)]をクリックします。
3. セットアップ画面が表示されますので、画面に従ってインストールします。
4. プログラムファイルのインストール先の選択画面が表示されます。
   インストール先を設定し、[次へ]をクリックします。
   標準では C ドライブの“AisanTechnology”の中にインストールされます。
   ※　保存場所を変更する場合は、[参照]をクリックします。
   ※　Program Files にはインストールしないでください。
   本プログラムを動作させるためには、インストールフォルダ以下にファイル書き込みが行えるアクセス権を設定する必要があります。
5. ファイルコピーの開始画面が表示されます。そのまま[次へ]をクリックします。
6. インストール完了画面が表示されます。[完了]でインストールを完了します。
7. インストールが完了したら、続いて[自在眼]を選択し、 [実行(S)]をクリックします。
8. 自在眼のセットアップ画面が表示されますが、旧バージョンがインストールされていた場合は[削除]をクリックし画面に従って削除します。
9. 削除が完了したら、再度[自在眼]を選択し、[実行(S)]をクリックします。
10. 自在眼のセットアップ画面が表示されますので、[インストール]をクリックし画面に従ってインストールします。

3D 点群ツールのセットアップ

3D 点群ツールをインストールします。

◆注意

- インストールをするには、管理者の権限が必要です。インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。

◆操作手順

1. WingneoINFINITY セットアップ DVD-ROM をコンピュータにセットします。
   「WingneoINFINITY インストールランチャ」が自動起動されます。
2. ランチャの下段にある[3D 点群ツール]を選択し、[実行(S)]をクリックします。
3. セットアップが開始されますので[次へ]で進めます。
   ※　インストールするプログラム名は「MMS-Editer(3D 点群ツール)」と表示されます。
   ランチャでは OS に応じて 32bit/64bit 版を自動判別してセットアップを行います。

4. 使用許諾契約画面が表示されますので、「同意する」を選択して[次へ]をクリックします。
5. インストール先のフォルダと利用ユーザ（すべてのユーザ/このユーザのみ）を指定して[次へ]をクリックします。
6. [次へ]をクリックするとインストールを開始します。
7. 「インストールが完了しました」のメッセージが表示されますので[閉じる]をクリックしてセットアップを完了します。

3.アンインストール

WingneoINFINITY 及び追加プログラム、自在眼のアンインストール

コンピュータにインストールされた WingneoINFINITY の各ファイル、ショートカット、WingneoINFINITY ネットワークサーバーマネージャ(サービス)などを消去します。

◆注意

- アンインストール時には、通常、インストールした時と同じユーザー名でログオンし、セットアップ(削除)を実行してください。インストールした時のユーザー名が不明の場合は、「Administrator」でログオンします。
- 重要な現場データ、帳票、パーツ、条件などのファイルは、予めバックアップしてください。
  アンインストールでは、セットアップ以外でコピーしたファイル、作成されたファイルは削除しませんが、そのファイルを再利用するすべが無くなります。
- WingneoINFINITY サーバーがインストールされている場合は、アンインストール実行時にログオンするユーザー名に注意してください。INFINITY サーバーをサービスとしてインストールする時と同様に、サービスをアンインストールするには、管理者の権限が必要です。
  ※　管理者の権限が無いと、サービスを削除できないまま、セットアップを完了し、削除できなくなる可能性があります。
  ※　アンインストールする際には、必ず「自在眼」を先にアンインストールしてください。

◆操作手順

1. WingneoINFINITY を終了します。
2. WingneoINFINITY のセットアップ DVD-ROM をコンピュータにセットします。
3. インストールランチャを起動して「インストール済みのプログラムを表示しない」のチェックを外します。
   [自在眼]を選択して[実行(S)]をクリックします。
   自在眼セットアップ画面が表示されますので、[削除]をクリックします。
4. 続いて WingneoINFINITY 追加プログラムを削除します。
   [コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsVista/Widows7/Widows8/Widows8.1 では[プログラムのアンインストール])で「WingneoINFINITY 追加プログラム」を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。
   (WindowsVista/Widows7/Widows8/Widows8.1 では[アンインストールと変更]ボタンをクリックします。)
   ※　メンテナンス用の WingneoINFINITY 追加プログラムセットアップが起動します。
5. [削除]を選択し、[次へ]をクリックします。
   アンインストールの確認ダイアログが表示され、[OK]を押すと、削除を開始します。
6. 同様に「WingneoINFINITY」も[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsVista/Widows7/Widows8/Widows8.1 では[プログラムのアンインストール])でアンインストールを実施します。
   ※　一部のファイルは削除されずに残ります。以下は「エクスプローラ」などで削除します。

削除されないファイルの例

主に WingneoINFINITY サーバー、モバイルがインストールされていたコンピュータの場合
・WingneoINFINITY サーバーのインストール時に共有名を設定した各フォルダ
・WNI_DAT 以下の現場データファイル
・WNI_SYS 以下の帳票、パーツ、条件などのファイル
・名前などを変更されたショートカットファイル

7. その他、WingneoINFINITY でのみ使用していた各種ドライバをアンインストールします。
   [コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]
   (WindowsVista/Widows7/Widows8/Widows8.1 では[プログラムのアンインストール])
   で削除したいドライバを選択し、[追加と削除(アンインストール)]ボタンをクリックします。
8. [削除]を選択し、[次へ]をクリックします。
   アンインストールの確認ダイアログが表示され、[OK]または[はい]をクリックすると、削除を開始します。
   削除するドライバの例
   ・PDF ドライバ
   ・HASP ドライバ
   ・JAVA ランタイム

3D 点群ツールのアンインストール

コンピュータにインストールされた 3D 点群ツールを削除します。

※ アンインストール時には、通常、インストールした時と同じユーザー名でログオンし、セットアップ(削除)を実行してください。インストールした時のユーザー名が不明の場合は、「Administrator」でログオンします。

◆注意

- 重要な現場データなどのファイルは、予めバックアップしてください。アンインストールでは、セットアップ以外でコピーしたファイル、作成されたファイルは削除しませんが、そのファイルを再利用するすべが無くなります。

◆操作手順

1. WingneoINFINITY を終了します。
2. [コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]
   (WindowsVista/Widows7/Widows8/Widows8.1 では[プログラムのアンインストール])
   で「MMS-Editer(3D 点群ツール)xx ビット」を選択し、[追加と削除(アンインストール)]ボタンをクリックします。
3. [削除(アンインストール)]を選択し、[次へ]をクリックします。
   アンインストールの確認ダイアログが表示され、[OK]または[はい]をクリックすると、削除を開始します。

4.バージョンアップ

WingneoINFINITY、追加プログラムのバージョンアップ

インストール済みのプログラム、出荷時標準データファイルなどがバージョンアップされた時、既存のインストール環境のままファイルを更新します。

※　アンインストール時と同様に、インストールした時と同じユーザー名でログオンし、セットアップ（修正）を実行してください。

◆注意

- インストールをするには、管理者の権限が必要です。
  インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。
- Pocket シリーズ、電子平板、MobileNeo の同期データが存在する場合は同期を完了させてから実行してください。
- 自在眼のバージョンアップがある場合には、ネットワーク経由でのインストールは行えません。
  PC にある DVD ドライブからインストールしてください。
  DVD ドライブがない PC ではローカルディスクや USB メモリなどへメディアイメージの全体をコピーして実施してください。（メディアサイズは1GB を超えています。容量に注意してください。）

◆操作手順

1. 新規導入時と同様に、新バージョンのセットアップ DVD-ROM をコンピュータにセットします。
2. WingneoINFINITY インストールランチャが起動します。
3. ランチャ右上部「インストール済みのプログラムを表示しない」のチェックを外します。
4. WingneoINFINITY をバージョンアップします。
   [WingneoINFINITY　インストール]を選択し、[実行（S）]をクリックします。
   WingneoINFINITY　セットアップ画面が表示されます。
   「修正」を選択し、[次へ]を押すとファイルの更新処理が開始されます。
5. 情報画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
6. WingneoINFINITY のセットアップステータスが表示され、インストールが開始されます。
7. メンテナンスの完了画面が表示されます。[完了]でバージョンアップが完了します。
8. 続いて WingneoINFINITY 追加プログラムをバージョンアップします。
9. [WingneoINFINITY 追加プログラム]を選択し、 [実行（S）]をクリックします。
10. 登記支援セットアップ画面が表示されますので、 [修正]を選択し、[次へ]をクリックします。
11. メンテナンスの完了画面が表示されます。[完了]でバージョンアップが完了します。
12. 続いて[自在眼]を選択し、 [実行（S）]をクリックします。
13. 自在眼のセットアップ画面が表示されますので、旧バージョンの自在眼をアンインストールします。
    [削除]をクリックし画面に従って削除します。
14. 削除が完了したら、再度[自在眼]を選択し、 [実行（S）]をクリックします。
15. 自在眼のセットアップ画面が表示されますので、 [インストール]をクリックし画面に従ってインストールします。

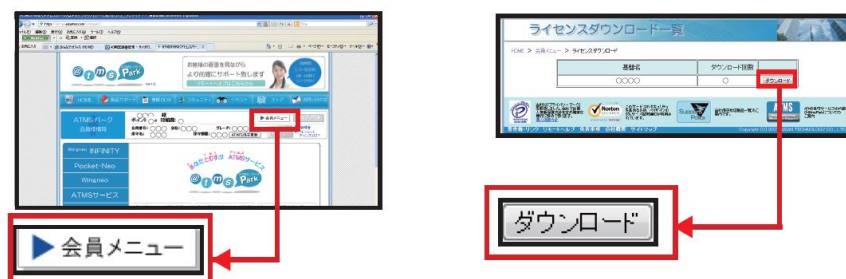
◆ポイント

ファイル構成や実行環境が大きく変更されたバージョンは、上記の方法によらないバージョンアップを行う場合があります。その際は、別途ご案内致します。

5.HASP 更新ツール

INFINITY のバージョンアップやオプション追加時には、HASP のプロテクト情報を更新する必要があります。

取得方法

INFINITY のバージョンアップでは、HASP のプロテクト情報更新が必要になります。
更新プログラムは弊社サポートサイト「@tmsPark」よりダウンロード頂けます。
@tmsPark 会員様専用サイト URL: https://atmsp.aisantec.com/atmspark/

◆注意

- お客様の環境で、「ライセンスファイルのダウンロードが正常に行えない」、「お持ちの基盤名称と異なる」、「基盤が不足している」等の障害が発生した場合には、お手数ですがインストールを中止いただき、最寄りの営業所、または代理店へ障害内容をご連絡ください。
- ライセンスファイルの公開期間は 3 ヶ月とさせていただいております。必ず 3 ヶ月以内にファイルダウンロード、並びにライセンス更新の実行をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆操作手順

1. @tmsPark 会員様専用サイト URL: https://atmsp.aisantec.com/atmspark/にアクセスします。
2. ID とパスワードを入力し、ユーザーログインをします。
3. トップページに表示されている会員様情報の[会員メニュー]をクリックします。
4. [サービスメニュー]-[ライセンスダウンロード]をクリックします。
5. ダウンロード可能な基盤番号が表示されていますので、[ダウンロード]をクリックします。
   ダウンロードファイルは「EXE ファイル」形式となっています。
   ウイルスチェックソフトが削除動作を行う場合は停止をさせてから取得してください。

使用方法

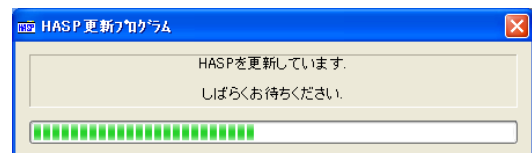
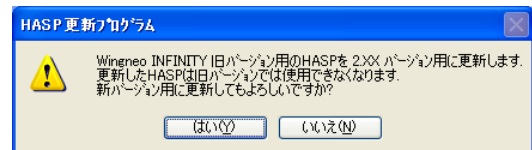
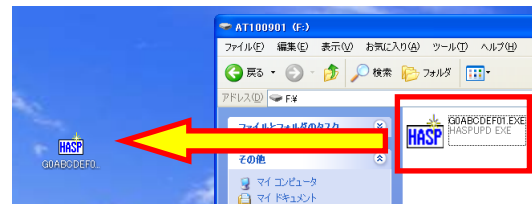
HASP プロテクトの更新を行います。

◆注意

HASP のプロテクト情報を更新する際には、下記の環境で行ってください。

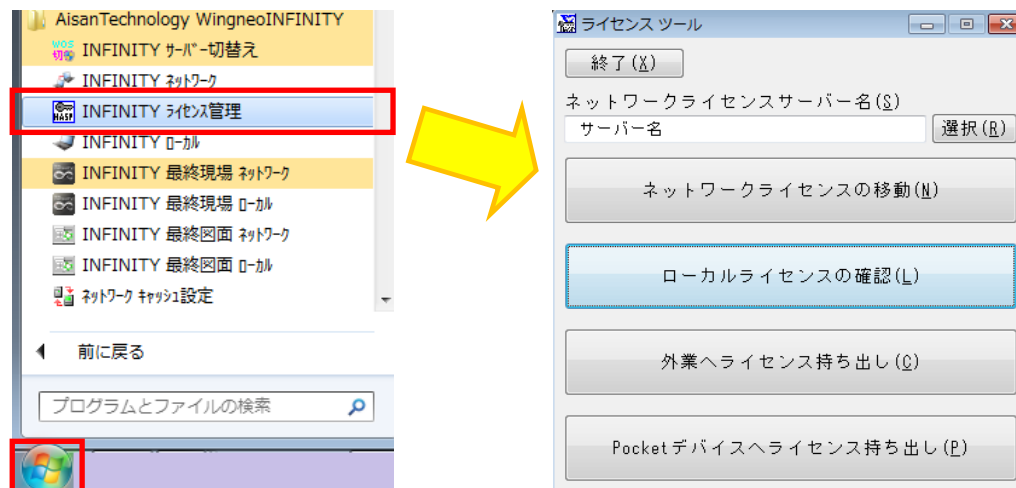
- USB タイプの HASP をお使いの場合には、パソコン本体の USB ポートに更新する HASP を直接接続し、更新操作を行ってください。（他製品の HASP は接続しないでください。）
  複数分割される USB ハブをお使いの場合、機器によっては正しく情報が更新できない可能性があります。
- HASP を「INFINITY ライセンス管理ツール」で「外業へのライセンス持ち出し」に設定して使用の場合は、通常 HASP の状態に戻した後、HASP 更新を行ってください。
  ※　「ネットワークライセンスの移動」を使用していても HASP 更新はそのまま行えます。ただし、オプションを抹消する場合は対象のオプションが 1 ライセンス以上 HASP に存在していなければ抹消できません。
- Wingneo INFINITY はすべて終了させた状態で更新してください。
  ネットワーク HASP の場合は[マイコンピュータ]を右クリックし、[管理]-[サービスとアプリケーション]-[サービス]より「WOS2Server Manager」を停止して更新してください。
  MobileNeo、電子平板、Pocket シリーズ等の同期データが存在する場合は、現場を同期してデータ取り込みを行った後、バージョンアップを行ってください。
  データを破損する恐れがあります。
- ウイルスチェックソフトが更新プログラムを削除する場合がありますので、実行時はウイルスチェックソフトを停止または終了させて行ってください。

◆操作手順

1. Wingneo INFINITY を終了します。
   ※　ネットワーク HASP の場合は､｢マイコンピュータ｣を右クリックして[管理]-[サービスとアプリケーション]-[サービス]の WOS2 Server Manager を停止します。
2. Wingneo INFINITY の HASP 更新プログラムのセットアップ USB を USB ポートに差し込みます。
3. マイコンピュータを開き、USB ドライブを開きます。
4. USB メモリを開くと｢G0xxxxxxx.exe｣といったファイル名のアイコンが表示されます。
5. 表示された更新プログラムをデスクトップにコピーします。
   (ファイル名は基盤番号になっています。お使いの HASP の No.と、インストールするファイルの No.が同じであることを確認の上、インストールを行ってください。)
6. コピーした後、タスクバーに表示されている｢ハードウェアの安全な取り外し｣をクリックして、USB メモリを安全に取り外します。
7. デスクトップにある｢G0xxxxxxxx.exe｣ファイル名のアイコンをダブルクリックし、画面にしたがってインストールを行います。
8. ネットワーク HASP の場合は停止した WOS2 Server Manager を開始します。
   (パソコン再起動でも開始されます。)

6.ライセンス管理ツール

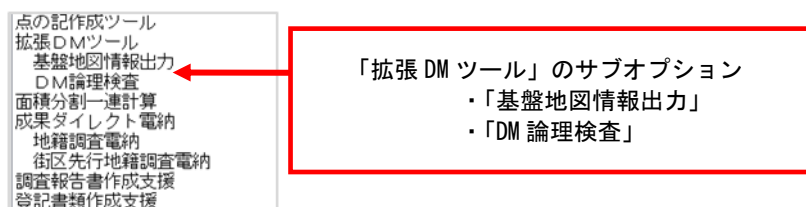
ライセンス管理ツールでは、ネットワークライセンス･キーとモバイルライセンス･キー間のライセンス移動、ローカルライセンスの確認、外業への持ち出しライセンス設定、Pocket デバイスへのライセンス持ち出し設定が行えます。

◆操作手順

1. Windows の[スタート]ボタンより[すべてのプログラム]-[AisanTechnology WingneoINFINITY]-[INFINITY ライセンス管理]を起動します。
2. 「ライセンスツール」画面が表示されます。

ネットワーク･キー＆モバイル･キー間のライセンス移動

WingneoINFINITY では製品をご購入されたー事業所内において所有されているネットワークライセンス･キーとモバイルライセンス･キー間のライセンス移動を可能にしています。
ライセンスの移動は[INFINITY ライセンス管理]-[ネットワークライセンスの移動]で実行します。

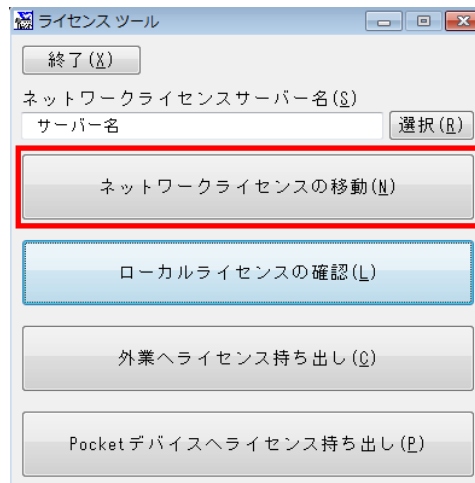
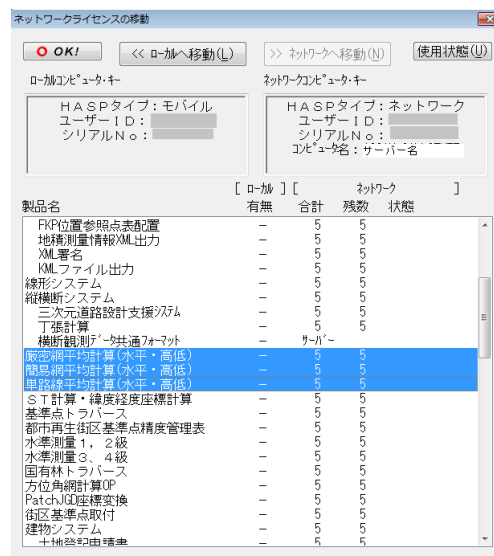
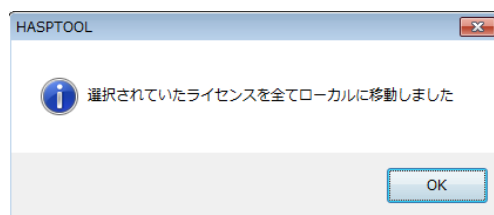
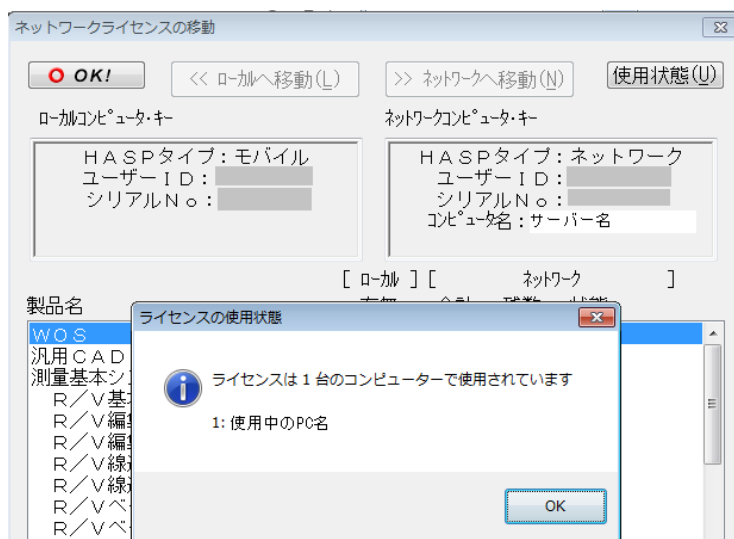
◆注意

- ライセンスの移動は一事業所内において所有されているネットワークライセンス･キーとモバイルライセンス･キー間のみに限定されます。
- ライセンスの移動処理には時間を要す場合があります。完了するまでは HASP を取り外したりネットワークケーブルを抜いたりしないでください。HASP が認識できなくなる可能性があります。HASP が破損した場合には、有償による HASP 交換となります。
- モバイルライセンス･キーには各オプション1つまでが格納できます。
- オプションにはベースとなるオプションに付随するサブオプションが存在する場合があります。サブオプションをライセンス移動しただけではオプション起動ができませんのでご注意ください。サブオプションかどうかの区別はライセンス一覧で確認ができます。(例:拡張 DM ツールと基盤地図情報出力など)

- PDA へ Pocket 用として一部ライセンスを持ち出した状態ではライセンス移動は行えません。持ち出したライセンスを HASP へ返却後に実行してください(ライセンス一覧に「外」と表示されます)。

◆ポイント

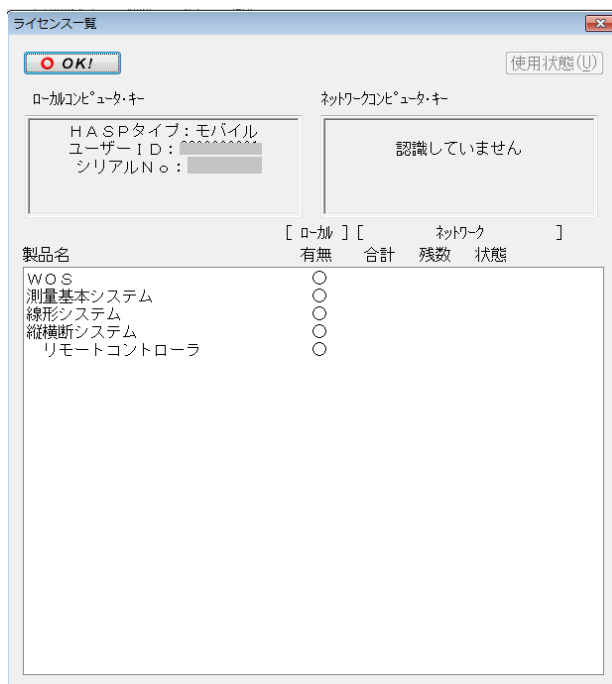
同一ネットワーク上において、移動したいライセンスを有する HASP キー(ネットワーク･キー、またはモバイル･キー)を装着しているコンピュータ名が認識できる状態であることが必要です。

◆操作手順

1. ネットワーク HASP がネットワークライセンスサーバーのコンピュータに装着されていることを確認します。
2. 操作するコンピュータにモバイル HASP を装着します。
3. スタートボタンより[INFINITY ライセンス管理]を起動します。
4. 「ネットワークライセンスサーバー名」の[選択]ボタンをクリックして、ネットワーク上のライセンスサーバーを指定します。
5. [ネットワークライセンスの移動]をクリックします。

6. 移動したいライセンスを指定します。(複数選択する場合は[Ctrl]キーを押しながら指定します。)
7. [ローカルへ移動]または[ネットワークへ移動]をクリックします。

8. 移動が完了したらメッセージが表示されます。

※　[使用状態]：ネットワークライセンスで消費されているライセンスを選択した状態でクリックすると、どの PC で利用しているかを確認する事が出来ます。

ローカルライセンスの確認

WingneoINFINITY を起動せずにライセンス･キー内のライセンス情報を確認する機能です。キーのタイプやオプションライセンス構成、基盤番号（ユーザーID）、シリアル No などを確認することができます。

◆操作手順

1.　HASP をコンピュータに装着します。
2.　スタートボタンより[INFINITY ライセンス管理]-[ローカルライセンスの確認]をクリックします。
3.　ライセンス確認画面に一覧が表示されます。

外業へのライセンス持ち出し

スタンドアロンライセンスキー、またはモバイルライセンス・キーを電子平板として屋外にて使用する場合、USB タイプの HASP をプログラム起動時のみ装着し、その後は取り外して運用が行える「外業へのライセンス持ち出し」が WingneoINFINITY では可能です。

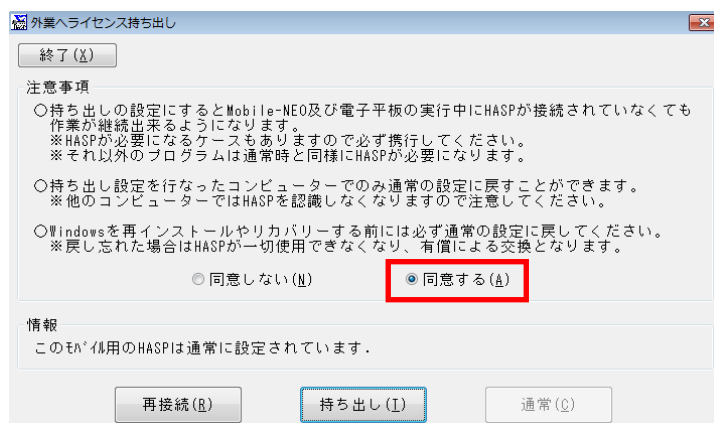
◆ポイント

起動時のみ HASP をチェックし、その後は取り外しての運用ができます。
[INFINITY ライセンス管理]-[外業へライセンス持ち出し]を起動し、HASP を「通常 HASP」、「持ち出し HASP」に切り替えられます。

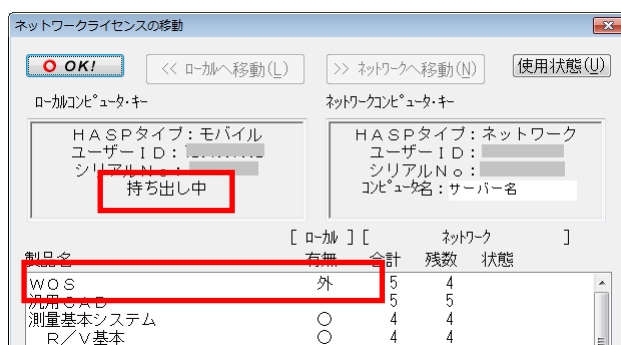
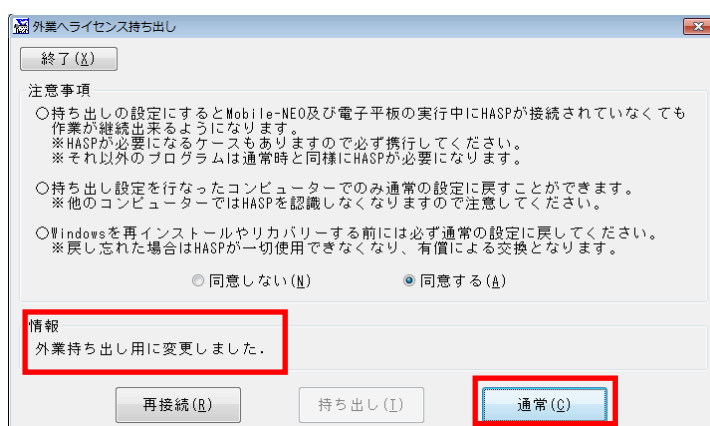
◆注意

- 「持ち出し HASP」と設定した場合には、**設定したコンピュータ専用 HASP となりますので**、HASP に様々なライセンスが入っていても、持ち出し設定を行うと外業用プログラム（電子平板など）だけでなく WingneoINFINITY としても他のコンピュータでは使用できなくなります。
- WingneoINFINITY を終了せずに日付が変わった場合には、再度 HASP が必要になります。
- 「持ち出し HASP」設定した状態で HASP のバージョンアップやオプション追加等は行えません。
必ず「通常 HASP」状態に戻してから実行してください。
- OS を再インストールする場合には、必ず「通常 HASP」に設定を戻してください。戻し忘れた場合は、HASP が一切使用できなくなり、有償による HASP 交換となります。

◆操作手順

1. 持ち出して使用するコンピュータに HASP を接続します。
2. スタートボタンより[INFINITY ライセンス管理]-[外業へライセンス持ち出し]を起動します。
3. 注意事項を読み、[同意する]を選択します。

4. [持ち出し]を選択します。
5. 確認メッセージが表示されますので[はい]を選択します。「持ち出し用に変更しました。」と表示され、設定は完了です。

※　外業へのライセンス持ち出しを行った場合、「ネットワークライセンスの移動」や「ローカルライセンスの確認」の画面では、ローカルコンピュータ・キーの状態が「持ち出し中」となり、製品名の「WOS」の[ローカル]項目が「外」と表示されます。

<外業へのライセンス持ち出し設定中の状態>

通常に戻す場合は、[通常]ボタンをクリックすると、通常の HASP に戻すことができます。

◆外業持ち出し状態での INFINITY 起動手順

1. WingneoINFINITY を起動します。
2. WingFan!より電子平板を起動すると、確認メッセージが表示されます。
   [OK]を押して HASP を取り外します。
   （通常 HASP 状態の場合には、このメッセージは表示されません。）
3. 起動後は今まで通り使用できます。

PDA へのライセンス持ち出し

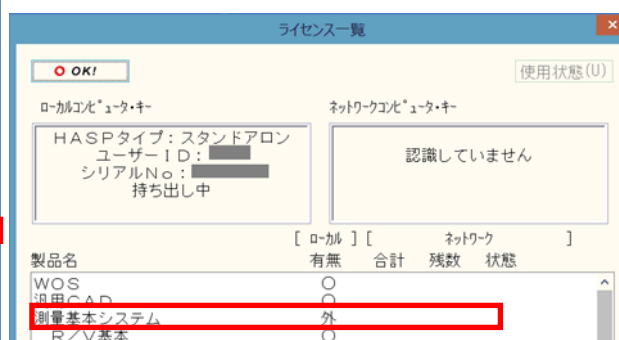
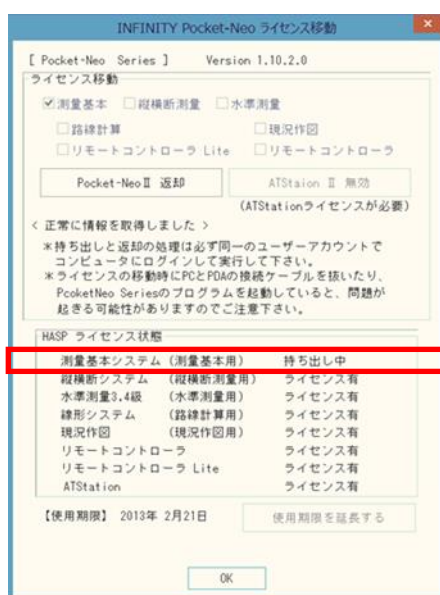
WingneoINFINITY では、一部のライセンスを、スタンドアロン、またはモバイルのライセンス・キーより専用ライセンスカード（MicroSD カード）に一時的に移動させ、「持ち出し版 Pocket シリーズ」として使用することができます。

◆ポイント

- WingneoINFINITY のライセンスを持ち出して PocketNeo シリーズプログラムを動作させることができます。
- 2014 年 3 月現在、WingneoINFINITY　Ver.4 のライセンスのうち、専用の MicroSD ライセンスカードへライセンスを一時的に移動して使用可能な Pocket シリーズ製品は、以下の2製品です。
  - ○ PocketNeo Ⅱ （移動可能なライセンス：「測量基本システム」「リモートコントローラ」「リモートコントローラ Lite」「縦横断システム」「水準測量 3、4 級」）「線形システム」「現況作図」
  - ○ ATStationPocket Ⅱ （移動可能なライセンス：「ATStation」+「測量基本システム」「リモートコントローラ」「縦横断システム」「水準測量 3、4 級」）「線形システム」「現況作図」「BAUM オフセット観測」「ATStation」

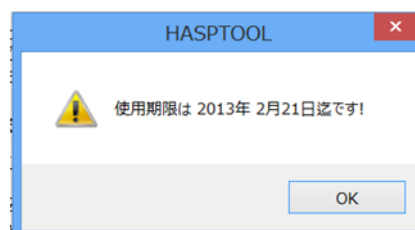
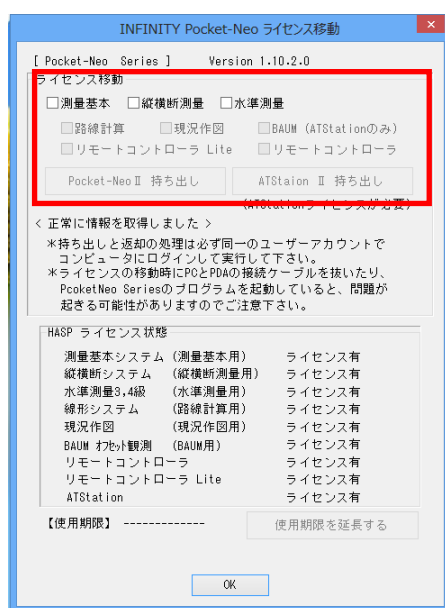
  ※ 「ATStation」ライセンスへの対応は WingneoINFINITY Ver1.10 より対応しています。
- WingneoINFINITY の WingFan!より PocketNeo 同期機能を使って現場データの同期が行えます。

◆注意

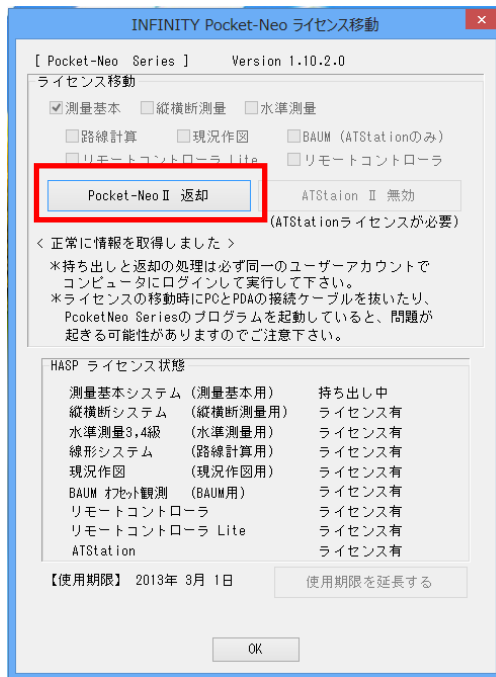
- 本機能を使用するには**専用 MicroSD ライセンスカード**が必要です。
- PocketNeo シリーズ製品が動作する環境は Windows Mobile 2003SE/5.0/6.x(Classic/Professional)です。
- WingneoINFINITY からのライセンスの移動(持ち出し)には Microsoft 社製「WindowsMobile デバイスセンター」が必要です。Microsoft 社の HP から「WindowsMobile デバイスセンター」をダウンロードし(無料)、WingneoINFINITY のコンピュータにインストールしてください。
  (※ WindowsXP の場合「ActiveSyncVer4.X 以降」が必要です。)
- 持ち出しライセンスには持ち出し期限があります。
  1 回の持ち出しで 10 日間使用することができます。11 日経過すると PocketNeo が起動できなくなります。
  (コンピュータ側でのデータ同期取込、及びライセンス返却は行えます)。
  ※ 使用期限の確認は PocketNeo シリーズを起動し、[システム設定]-[バージョン情報]にある「ライセンス情報」で確認できます。([INFINITY ライセンス管理]の[Pocket デバイスへライセンス持ち出し]画面でも確認できます。)
- 「持ち出し版 PocketNeoⅡ」「持ち出し版 ATStationPocketⅡ」では製品版 PocketNeoSeries と同じプログラムを使用します。
- ライセンス持ち出しを行ったコンピュータとライセンス・キー(HASP)は関連性を保持します。そのため、いずれかのライセンスを PDA へ持ち出した HASP は、これを設定したコンピュータ専用の HASP となりますので、異なるコンピュータで使用することができなくなります。但し、持ち出すライセンス毎に PDA のデバイス(専用ライセンスカード)は異なってもかまいません。
- PDA へ持ち出し中に設定したコンピュータで、WingneoINFINITY を起動すると使用中(ライセンス一覧では「外」と表示されます)となり、ライセンスを返却するまで WingneoINFINITY では使用できません。
- 持ち出したライセンスの返却は、持ち出し時に使用したコンピュータを使い、持ち出した HASP へのみ返却できます。持ち出し用のコンピュータと持ち出し用の HASP のペアを決めていただき、持ち出し/返却を行う運用をお奨めいたします。
- 「持ち出し版 Pocket シリーズ」では PDA 側で SIMA/APA 等の外部ファイル出力機能を利用できません。外部へのデータ入出力は WingneoINFINITY を介して行います。
- 持ち出し用コンピュータの OS を再インストールする場合には、必ず持ち出したライセンスを HASP へ返却してから行ってください。返却し忘れた場合には持ち出したライセンスを HASP に戻せなくなります。
  そのような場合には、最寄りの営業所へご連絡ください。
- コンピュータとの「WindowsMobile デバイスセンター」「ActiveSync」での接続を確実に行うため、接続時はウイルスチェックソフトのファイアウォールを無効にしてご利用ください。
- ライセンスの持ち出し/返却作業時(PocketNeo 同期中)には電源の確保を行い、HASP を取り外したり USB ケーブル等を抜いたりしないでください。HASP や専用ライセンスカードが認識できなくなる可能性があります。HASP、専用ライセンスカードが破損した場合には、有償による交換となります。

◆操作手順

※ Pocket シリーズの詳細な機能、及び操作方法については別冊「Pocket シリーズ取扱説明書」をご覧ください。

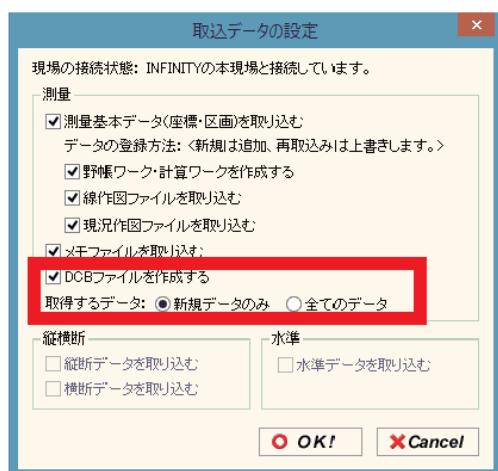
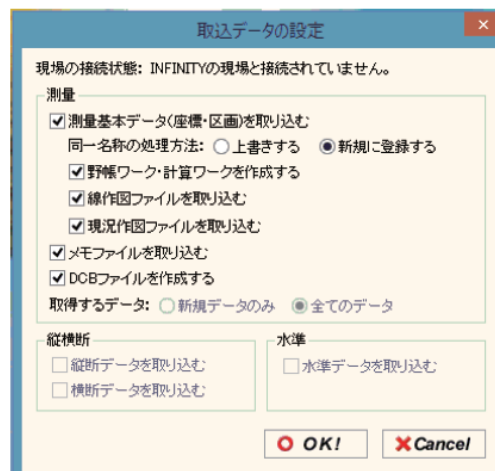
◆Pocket シリーズライセンスの持ち出し◆

1. コンピュータに HASP（モバイル/スタンドアロン）を接続します。
2. PDA をコンピュータに接続します。WindowsMobile デバイスセンターによって PDA が自動的に接続されます。（Pocket シリーズは起動しません。）
3. スタートボタンより[全てのプログラム]-[AisanTechnology WingneoINFINITY]-[INFINITY ライセンス管理]を起動します。
4. [Pocket デバイスへライセンス持ち出し]をクリックします。
5. 持ち出して使用したいオプションライセンスにチェックを入れます。
6. [Pocket-NeoⅡ持ち出し]または[ATStationⅡ持ち出し]をクリックして持ち出しを実行します。
7. 使用期限が表示されますので確認して[OK]をクリックします。

※持ち出した翌日以降に[Pocket デバイスへライセンス持ち出し]を起動すると使用期限の延長が行えます。

◆Pocket シリーズライセンスの返却◆

1. PDA へのライセンス持ち出しに使用したコンピュータと HASP(モバイル/スタンドアロン)を準備します。
2. PDA をコンピュータに接続します。WindowsMobile デバイスセンターによって PDA が自動的に接続されます。(Pocket シリーズは起動しません。)
3. スタートボタンより[全てのプログラム]-[AisanTechnology WingneoINFINITY]-[INFINITY ライセンス管理]を起動します。
4. [Pocket デバイスへライセンス持ち出し]をクリックします。
5. 返却可能な製品が表示されますので、.[Pocket-Neo Ⅱ 返却]または[ATStation Ⅱ 返却]をクリックして返却します。(持ち出したライセンスは全て返却されます。)
6. [OK]をクリックして画面を閉じます。

※ 「リモートコントローラ」「リモートコントローラ Lite」の各オプションを一緒に持ち出すことができます。

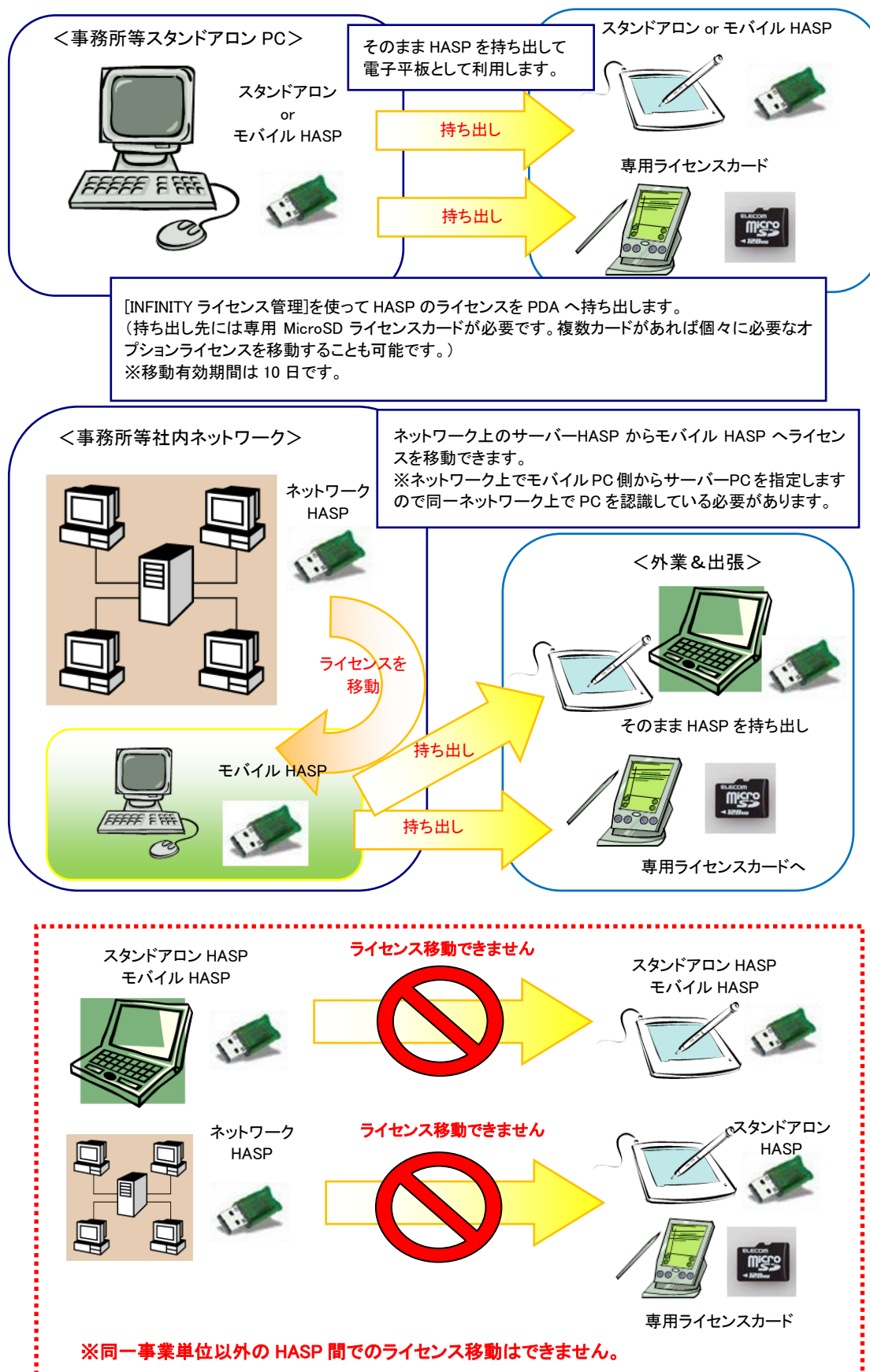
- **PocketNeo Ⅱ 観測メニュー**
  - 測量基本：座標・区画データを持ち出せて「測量基本システム」ライセンスを使用します。
  - 縦横断：縦横断データを持ち出せて「縦横断システム」ライセンスを使用します。
  - 水準：Pocket 水準作業用の現場を作成し「水準測量 3、4 級」ライセンスを使用します。
  - 路線：「線形システム」ライセンスを使用します。測量基本の持ち出しが必須です。
  - 現況作図：「現況作図」ライセンスを使用します。測量基本の持ち出しが必須です。
- **ATStation Ⅱ 観測メニュー**
  - 測量基本：座標・区画データを持ち出せて「ATStation」「測量基本システム」ライセンスを使用します。
  - 縦横断：縦横断データを持ち出せて「ATStation」「縦横断システム」ライセンスを使用します。
  - 水準：Pocket 水準作業用の現場を作成し「ATStation」「水準測量 3、4 級」ライセンスを使用します。
  - 路線：「線形システム」ライセンスを使用します。測量基本の持ち出しが必須です。
  - 現況作図：「現況作図」ライセンスを使用します。測量基本の持ち出しが必須です。
  - BAUM：「BAUM オフセット観測」ライセンスを使用します。ATStation Ⅱ Ver.2.0 から持ち出しが可能です。

※ 現場データの同期、転送は WingFan！を起動して[Pocket-Neo]より実行します。
Pocket シリーズと INFINITY を同期させて観測データを管理する場合、INFINITY から Pocket 用の現場を作成すると、新規データのみを転送する処理が選択できます。
何度も同一現場の追加観測を行う場合には、予め、**INFINITY の WingFan！より同期で Pocket 用の現場作成を行うことをお奨めします。**
Pocket 側で作成した現場データを INFINITY へ何度も転送すると、観測データの新旧管理ができません。
重複登録してしまいますので、ご注意ください。(下記画面の違いを参照ください。)

▲INFINITY より Pocket 現場作成時の転送画面

▲Pocket で新規に現場作成時の転送画面

ライセンス移動と外業製品への持ち出しイメージ

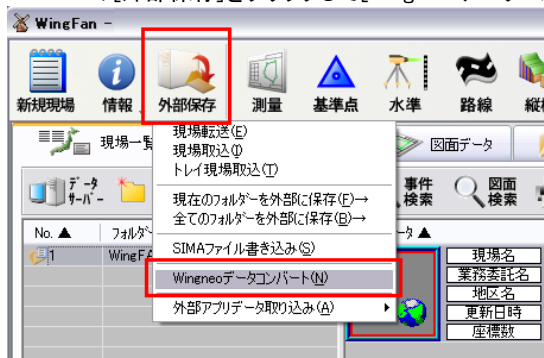
[INFINITY ライセンス管理]を使って HASP のライセンスを PDA へ持ち出します。
（持ち出し先には専用 MicroSD ライセンスカードが必要です。複数カードがあれば個々に必要なオプションライセンスを移動することも可能です。）
※移動有効期間は 10 日です。

ネットワーク上のサーバーHASP からモバイル HASP へライセンスを移動できます。
※ネットワーク上でモバイル PC 側からサーバーPC を指定しますので同一ネットワーク上で PC を認識している必要があります。

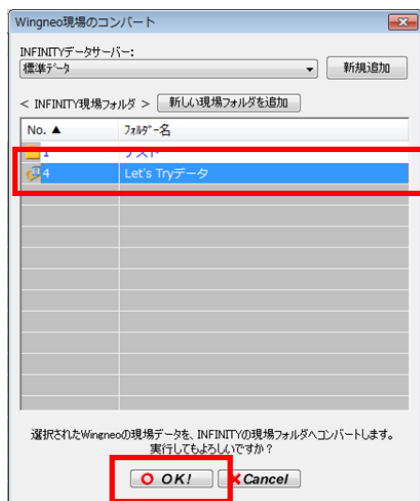
※同一事業単位以外の HASP 間でのライセンス移動はできません。

7.Wingneo データのコンバート

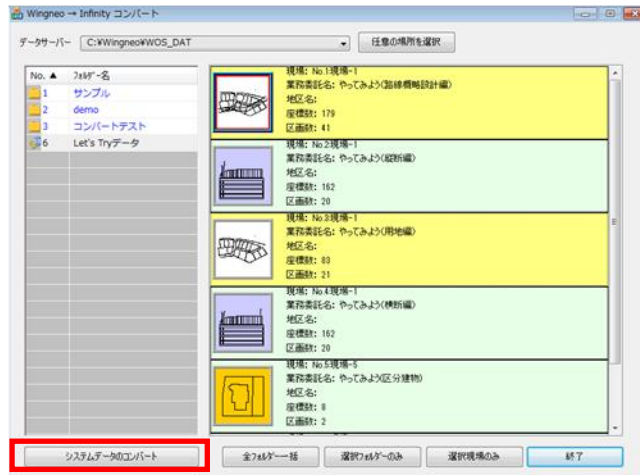
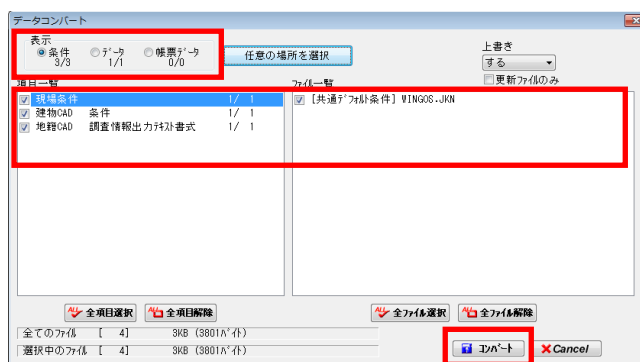
WingneoINFINITY はWingneo を継承していますので、Wingneo 現場データをコンバートして取り込むことができます。

◆操作手順

1. WingneoINFINITY を起動します。
2. WingFan!で[現場一覧]タブに切り替えます。
3. [新規フォルダ]をクリックして現場フォルダを作成します。
4. メニューの[外部保存]をクリックして[Wingneo データコンバート]を選択します。

5. Wingneo データコンバートメニューが起動しますので、対象データのある Wingneo データサーバーを指定します。現場一覧が表示されますのでコンバートしたい現場をクリックして指定します。

※　指定した現場をコンバートするには[選択現場のみ]をクリックします。
　　必要に応じて全フォルダー括、選択フォルダ単位でのコンバートも行えます。

6. コンバートしたデータの保存先を選択する画面が表示されますので、保存フォルダを指定して[OK]をクリックします。

7. 完了のメッセージが表示されたらデータコンバート完了です。
   ※ 所要時間は容量により異なります。一括コンバートなどを実施する場合には、コンバート先に十分な容量があることを確認して実行してください。

8. 次に Wingneo のシステムデータをコンバートします。
   データコンバートメニュー画面左下の［システムデータのコンバート］をクリックします。

9. 条件データやオリジナルで作成した帳票などのシステムデータをチェックして[コンバート]をクリックします。

※ 同一 PC 内に Wingneo がインストールされている場合はシステムデータの場所を認識します。
新しい PC に INFINITY をセットアップした場合は[任意の場所を選択]をクリックして「WOS_SYS」の場所を指定します。

測量・土木設計・登記業務アプリケーション
WingneoINFINITY　Ver.4

MANUAL　導入編
第 4 版
発　行　アイサンテクノロジー株式会社
　　　　愛知県名古屋市中区錦3丁目7番14号　AT ビル
　　　　TEL:052-950-7500/FAX:052-950-7507